

事業所名:グループホームわかば

作成日:平成 23年 1月 6日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者の高齢に伴い諸機能の低下が顕著である。一旦体調を崩すと重度化しやすく意欲の低下にも繋がる。生きがいを持って生活する為には健康であることが一番と考える。医師や看護師の助言で個別に行ってきたリハビリを全体の取り組みとして行い、嚥下機能・下肢筋力の維持・向上に繋げる。	1. むせ込みがなく、楽しく・美味しく食事ができる。嚥下機能の維持、誤嚥性の肺炎を予防。 2. 楽しく下肢筋力を鍛える。転倒の予防。	・吹き戻し笛を吹く(嚥下訓練・呼吸訓練)を全体で行う(1日1回以上、体操後またはお茶の時間前後に行う) ・体操後につま先上げ、踵上げ、足上げを行う。月2回、足を使ったレクリエーションを行う。	3か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。